

2008年度第1回 サロン 2002 理事会報告 (案)

【日 時】2008年4月19日 (土) 13:00~15:50 (その後、茗荷谷駅前にて懇親会 ~23:00)

【会 場】筑波大学附属高校2F応接室

【出 席】理 事 : 安藤裕一 田中俊也 徳田仁 中塚義実 本多克己

運営委員: 川井寿裕 岸卓巨 室田真人

【欠 席】理 事 : 麻生征宏

監 事 : 齋藤健司

運営委員: 高田敏志 宮川淑人 安松幹展 涌田龍治

■議題 I : 2007 年度の総括

1. 会費納入状況について

2007年度の入会意思表示者は132名。うち、4月19日時点で会費納入者は122名(ただし1名「サロン2002」で振込)、未納者は10名。

未納者10名にはすでに何度か督促しているにもかかわらず、いまだ入金が確認できない。最終期限を「5月10日の総会前日」(昨年度の例)として個別に最後の督促に当たる(担当者を決めた)。入金が確認されなかった場合、自動的に退会扱いとする(2007年度から会員ではなかったことになる)。

ただし、「サロン2002」名義で入金してしまった方を確認する必要があるため、まずは理事長からこれら10名の方に連絡をし、その上で担当者から最終的な督促をする。

<2008年4月19日時点での、“2007年度”会費未納者(10名)>

井上裕康 上間匠 窪田修 小島裕範 長谷川雅久 葉梨忠男 松田保(1,000円不足) 安松幹展 山下高行 山田智子

2. 事業及び決算報告

年度末総会の時点では中間報告だったが、次回総会で最終報告ができるように、会計担当の川井氏の資料をもとに決算の確認をした。

2007年度の各事業はおおむね終了したが、公開シンポジウム報告書が2007年度中に間に合わず、2008年度に回ることになった。

以下、決算報告案である。総会までに監事の齋藤氏に監査していただく。

【収入の部】

会費受入 418,000円、

雑収入 6,189円、

前年度繰越金 410,240円

収入計 834,429円

【支出の部】

月例会補助 6,200円

プロジェクト補助 234,143円 (すべてシンポジウム補助)

事務費 208,759円 (印刷製本費63,000円、通信運搬費31,350円、借損料4,200円、雑役務費85,920円、消耗品費24,289円)

予備費 0円

支出計 449,102円

【繰越金】834,429円 - 449,102円 = 385,327円

■議題Ⅱ．2008年度の準備

1. 入退会について (2008年度名簿進捗状況)

3月26日(水)～4月19日(土)を2008年度会員募集期間としていた。2007年度会員はこの期間に名簿の更新をするよう促している。4月18日(金)21:00の時点での名簿原稿提出状況は次のとおり(計39名)。現時点で退会希望はいない。

2007年度は132名の会員がいたにもかかわらず、わずか31名しか連絡がない。あまりにもひどいので、再度提出を促し、4月末日まで手続き期間を延長する。

【継続(名簿原稿更新)】28名

牛木素吉郎、宇都宮徹彦 笠野英弘、北原由、熊谷建志、小林俊文、嶋崎雅規、島原裕司、清水諭、高橋誠、高橋義雄、高原渉、多田寛、田中俊也、茅野英一、徳田仁、名方幸彦、西村祥央、野田直広、半澤隆憲、宮明透、村木初年、室田真人、両角晶仁、山本浩義、由利英明、吉村修、涌田龍治

【継続(名簿原稿そのまま)】3名

仲澤眞、中村浩彦、本杉亀一、

【新規】8名

4.5. 白井久明(弁護士)

4.7. 竹下誠一(高知放送)

4.8. 高藤順(吉備国際大学)

4.14. 田村充(横浜FC)

4.15. 石坂友司(関東学園大) 田部学(FC東京U-15むさし)

4.17. 中西正紀(東京工業大学社会理工学研究科大学院)、手塚一志(上達屋)

2. 組織について

理事・監事は2007～2008が任期。今年度末に改選。運営委員も含め現行どおりの体制でいきたい。ただし、理事の役割をより明確化したい。

中塚義実…理事長

徳田仁 …副理事長・企画

安藤裕一…企画

本多克己…ホームページ管理

田中俊也…ホームページ監査

麻生征宏…公開シンポジウム

- ・新たに設けた「企画」は、月例会のテーマと日程を早い段階で企画する。
- ・ホームページについては、管理を本多氏が引き続き行うが、更新の頻度や内容についてチェックする係を設けたいことから「ホームページ監査」を新たに設けた。

3. 事業計画および予算

1) 月例会

- ・「企画」と理事長を中心に、より早い段階で会員にアナウンスできるように計画的に進める。月例会案内は、従来どおり、サロンの会員にのみ通信で伝えるが、「開催月とテーマ」はホームページで公開していくことにする。
- ・月例会のひとつの柱は、引き続き「日本サッカー史・スポーツ史」とする。あとは未定(総会で意見をいただく)。
- ・「関西サロン」は、サロン2002の月例会のひとつと位置づける。したがって(今は大丈夫だが)、赤字になったらサロンの会計から補助金を出すし、そのためにも、東京で行われている月例会同様、

決算報告も必要。また、通産回数には加えない（関西は関西でカウントする）。今後、地方のサロンができていった場合も同様に考える。

2) 公開シンポジウム

昨年度からの流れでは「サッカー観戦を楽しもうーメディアスポーツ編」が有力。
年末開催、年度内に報告書作成というスケジュールでいきたい。
担当理事を設けたが、運営委員の中で「事務局長」を決めて準備を進めていきたい。
これについても総会で意見をいただくことにする。

3) 出張サロン

・旅費について

「出張サロン in 高知」では旅費の請求はなかったが、今後もサロンとして何らかの業務を依頼する方には旅費を出していく方向で進めていきたい。

・「出張サロン」の名称について

これまで「出張サロン in ●●」としていたが、受け入れ側からすると「出張」でも何でもない。また、「出張」と言いながら「自費」で参加する人も大勢いる。

このような状況を鑑みて、「出張サロン in ●●」は「サロン in ●●」と名称を改め、「出張」の人と「自費」の人がいる形にしていきたい。

なお、「関西サロン」のように、それが定例化してきた場合に、地域名とサロンが入れ替わる形で考えたい（別にこだわるわけではない）

・本年度の訪問先について

長野、仙台から打診あり。

4) サロン通信について

・「月例会報告」は、今後 PDF 化して送信するようにする。

文書の改ざんを阻止できるし、容量をセーブすることができるというのが理由。

・月例会案内が掲載されているサロン通信が届けられることは、サロンの会員の大きなメリットであるということを強調したい。

ただし、月例会のテーマは、ホームページであらかじめ知ることができるようにする

5) ホームページについて（現状と課題。特に「内容」と「更新」について）

・月例会報告は、PDF化されたものをダウンロードできる形にするとともに、HTML方式でも掲載。その場合、作業の手間を考えると1ページにまとめて掲載するが、冒頭に目次（アンカー）を設け、そこをクリックすると当該部分に飛ぶような形にする

・ホームページの更新は「株式会社シックス」の本多氏（バナーもクラブハウスからシックスに変更）が担うとともに、ホームページの更新が適切に為されているかどうかを監督する係を田中俊也氏が務める。

・ホームページ上に「会員のページ」を設けるか否かについて議論したい。例えば、いまは「通信」でのみ知ることができる月例会案内を、会員はIDとパスワードを用いてホームページ上で閲覧できるようにするのもよいのではないか（との意見があった）。ただし、管理が大変。また「会員」とは、「申請して会費を払った人」なので、会費納入のチェックと会員資格の付与のタイミングが難しい。

6) メーリングリストについて（涌田氏より）

1.ML登録者数および容量

2008年4月18日現在

登録アドレス 114アドレス (最大500アドレスまで可)

アーカイブ容量 9634 Kb (最大10240kbまで可)

2.登録までの手続き

担当者 (川井さん) から送付される名簿を確認し、MLに登録しております。

3.年度途中のアドレス変更

ML担当者 (waku@hkg.odn.ne.jp)、理事長、運営担当者 (会計、名簿) へ登録したアドレス (旧) と登録希望アドレス (新) を個別に送付していただき、アドレスを変更しています。

4.定期的メンテナンス

アドレスの登録数はまだ余裕がありますが、過去の投稿メッセージの保存数 (容量) に余裕がないため、3か月に1度ほど、もっとも古いメッセージから削除しています。

- ・メーリングリストのアドレス更新は正確に為されているかどうか、こちらもチェック機能が必要。運営委員の室田氏を担当とし、涌田氏と連絡を取って、更新と確認がスムーズに行えるよう方策を探る。
- ★理事会終了後、4月21日付けで担当の涌田氏より「SalonMLのサーバーであるカムネットサービスがH20.4.30でサービスを終了する」との情報をいただきました。理事会終了後ではありますが、涌田氏を中心に、新たなサーバーを探ることとなりました。

■その他

1) 2008年度のスローガンをどうするか

「スローガン」とまではいかないが、引き続き次のことは念頭に置いて活動を進めていこうということになった。

- ・サッカーにとどまらず、他の競技、他の分野への広がりを意識したい
- ・日本各地のサッカー史・スポーツ史をひもときたい
- ・女性会員の増加に努めたい などなど

2) 理事からの提案

- ・サロンの会員のメリットとは何かについて議論した

以上 (文責: 中塚義実)